




















# 入院診療計画書

西・東病棟 階 A・B 号室 【氏名】 様

傷病名: 出血性胃・十二指腸潰瘍  
 症 状:  
 治療法: 内科的治療

経過	入院当日( / )	翌日( / )	3~4日目( / ~ / )	5~7日目( / ~ / )	6~10日目退院日( / )
目標	腹痛なく経過できる	再出血なく食事が開始できる	食事摂取後に腹痛が起きない		退院後に安心して過ごすことができる
検査	 血液検査、レントゲン検査、 心電図検査、超音波検査 胃カメラ検査を行ってから入院に なります。	 血液検査 レントゲン検査 胃カメラ検査をします。	 胃カメラ検査、血液検査をします。		
点滴	 24時間点滴を行います。		 食事開始の場合は、日中だけ 点滴を行います。		点滴を中止します。
内服	 水薬がでます。		 潰瘍のお薬と水薬がでます。		退院時処方をお渡しします。
食事	 食事・水分はとれません。	 重湯からはじめて、徐々にお粥にします。	 全粥になります。		
安静度	ベッド上で安静となります。 	経過が良ければ、トイレと洗面所まで、歩行 ができます。 	 経過がよければ、病棟内もしくは、院内歩行が可能となります。 		
清潔	 蒸しタオルで体を拭きます。		 シャワー、もしくは経過が良ければ入浴ができます。 		
説明・指導	 主治医より病状説明をします。 看護師より入院説明をします。 血圧・脈拍・体温を測定します。 症状の有無をお聞きします。	脈拍・体温を測定します。 症状に変化がないかをお聞きします。	→		病状と退院後の計画を説明します。 

特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無

在宅復帰支援計画 無 ・ 有 ( )

総合的な機能評価 無 ・ 有 ( )

【診断群分類番号】 060140xx97x00x

【診断群分類区分】 胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの） その他の手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

注) 原本患者保管・自署以外のサインは印が必要です。

年 月 日

岩手医科大学附属病院 岩手県高度救命救急センター

主治医氏名: \_\_\_\_\_

担当以外の担当者: \_\_\_\_\_

在宅復帰支援担当者: \_\_\_\_\_

本人・家族氏名: \_\_\_\_\_